



①現在の計画

東京2020大会時の  
放送車用スペースが  
確保できない。



②見直し案



③大会時の計画案

【対応の方向性(都市計画の変更が前提条件)】

- ・組織委員会からの要請をうけて、第二期事業竣工時には、地表面を平坦な状態で整備。(事業費の上限を超えない範囲での整備)
- ・大会終了後に、せせらぎや植栽等をつくる「二段階整備」を実施。

→上記方向性の妥当性については、アドバイザリー会議において確認済。

【実現に向けた今後の課題】

- ・二段階整備の各整備時における役割分担
- ・事業費の精査